# 令和6年度 学校関係者評価

| 学校名 | 加古川市立加古川中学校 |
|---|---|

**1 学校教育目標　自分で考え行動する−自律・創造・尊重− ～笑顔あふれる学校 Smart Tough Heartful！～**

**2 本年度努力目標**

(1) School Project(Smart ,SDGS) の推進
(2) 命を尊び、自他を大切にし、いじめを許さない、豊かな人権意識をもつ生徒の育成
(3) 生徒の学力向上を図るための学習指導の工夫・改善（ICT活用、スマート探究学習等）
(4) 学校運営協議会及び加古川ユニット教育推進協議会による地域とともにある学校の充実
(5) 学校組織力及び教職員の資質能力の向上

**A:できている　B:だいたいできている　C:あまりできていない　D:できていない**

| | 評価項目 | 達成状況 | 改善の方策 | 自己評価の適切さ（学校関係者評価） | 達成状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 進んで学習に取り組む | B | ICTを活用した個別指導で興味を引き出し、主体的学習を促進する。課題解決型の学習活動や目標設定で動機付けを強化し、家庭との連携で家庭学習を支援していく。定期的に効果を評価し、フィードバックを活かしていく。 | ICTを活用した個別指導は、生徒の興味を喚起し、主体的学習を促進する効果的な方策だと思います。課題解決型学習と家庭との連携により、学習動機が向上し、家庭学習の支援が強化されると考えます。改善に向けて定期的な評価とフィードバックを重視して取り組んでほしいです。 | B |
| 2 | 健康・安全を大切にする学校づくり | A | 健康意識を高めるために、養護教諭と連携して保健だより等を活用し、積極的に情報を発信する。また、職員の実践力を向上させる職員研修を計画的に実施し、危機意識を持った行動を心がける。 | 養護教諭との連携による保健だよりの活用は、生徒や保護者への重要な情報発信手段となり、健康意識の向上に寄与すると思います。また、職員の実践力を高める職員研修は、危機意識の醸成に重要であり、非常時の対応力向上につなげてほしいです。 | A |
| 3 | 道徳心・人権意識の高揚 | A | 計画的な職員研修を通じて教職員の人権意識と指導力を向上していく。また、日常の学校生活で生徒の道徳心や人権意識を育むための活動を積極的に実施し、全体的な意識向上を図る。 | 教職員と生徒双方の意識向上を目指しており、教育現場において重要な役割を果たしていると思います。計画的な職員研修は、教職員の人権意識と指導力を高める効果が期待できる一方で、日常活動を通じた生徒の育成は、さらに実践的な理解を促進してほしいです。素晴らしい校風が続くことを期待します。 | A |
| 4 | いじめを絶対に許さない集団づくり | A | 「いじめ防止基本方針」に基づき、全教職員が正確な情報把握と積極的認知を行う。生徒会活動や人権学習を強化し、生活相談アンケートで早期発見に努め、迅速な対応を実現していく。 | 教職員の情報把握と認知を強化し、生徒会活動や人権学習を通じて全校を挙げていじめに対して適切な対応ができていると思います。また、生活相談アンケートによる早期発見と迅速な対応を掲げている点も評価します。今後も心の通う指導をお願いします。 | A |
| 5 | 学校行事等の工夫 | B | 行事ごとの目的や効果を分析し、PDCAサイクルを活用して内容を具体的に改善していく。全職員が協力体制を強化し、全校生徒が主体的に参加できるよう工夫し、学校全体の一体感を高める。 | 学校行事は、PDCAサイクルを活用した工夫がされており、具体的な成果が出ていると思います。全職員の協力体制を強化することで統一した指導を行い、全校生徒の主体的参加を促す取り組みは、一体感を醸成する活動ができると思います。学校全体の成長と行事成功の両立ができることを期待します。 | B |
| 6 | 勤務時間等の業務改善 | C | ICTを活用して校務の効率化を図り、業務をチームで分担することで教職員の負担を減らしていく。タイムマネジメント研修を実施し、効率的な時間管理の方法を模索する。教職員が働き方に対する意識を変え、より効果的な業務遂行を可能にしていく。 | ICT活用による校務効率化はできていると思います。業務のチーム分担をしっかり行うことにより、教職員の負担軽減につながってくると思います。タイムマネジメント研修の実施により、効率的な時間管理を学び、意識改革を促進することで、より効果的な業務遂行を期待します。 | B |